

研究・調査報告書

報告書番号	担当
299	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)	
21 st birthday drink: extremely extreme. 21歳の誕生日を記念するお酒－非常に過激な行為－	
執筆者	
Rutledge PC, Parc A, Sher KJ	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
J Consult Clin Psychol.2008; 76: 511-516.	
キーワード	
21 st birthday, legal drinking age, alcohol use, college student 21歳の誕生日、法的飲酒年齢、飲酒、大学生	
要 旨	
<p>目的： 21歳の誕生日を祝う際の飲酒が非常に危険であることが広く知られているにも関わらず、それがおこる頻度や重症度、危険因子についてほとんど実証的な情報はない。</p> <p>方法： ミズーリ大学では2002年入学直前の夏に3720人の新入生を対象に、自記式で質問用紙に答えさせ、以降年2回ウェブ上で学生が入力していく方式で学生からのデータを収集している。この学生のうち3年生の後期から4年生の前期に21歳の誕生日を迎え、誕生日の飲酒状況について回答した2518人を本研究の対象とした。</p> <p>結果： 83%の学生が21歳の誕生日を祝うために飲酒をし、その飲酒量も多く、12%の学生では21drink飲んでた。また半数の学生は、21歳の誕生日までに飲んでた最多量よりも多く飲んでた。以上のように21歳の誕生日には非常に危険な飲酒パターンを学生がとっていたことがわかった。また普段から飲酒に関し問題行動があったり、喫煙など飲酒と関連のあるような問題行動がある場合は、21歳の誕生日に飲酒したりその際に大量飲酒する危険が高いことが示された。</p> <p>結論： 21歳の誕生日という通過儀礼に関連する害を最小限にするために可能な介入手段を今後考えていく必要がある。</p>	